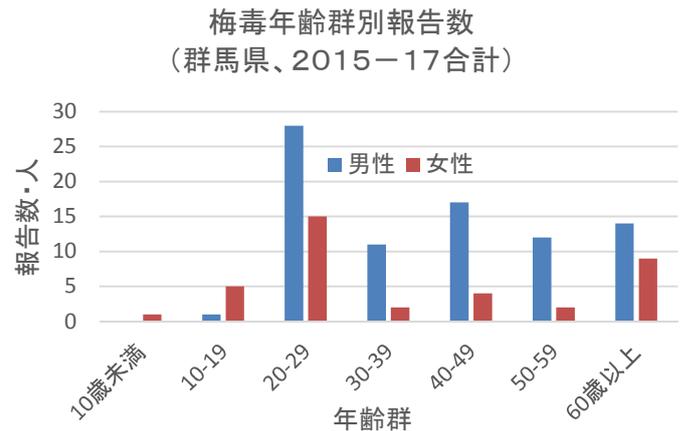


梅毒が増加しています!

◆ 流行状況

- 近年、全国的に梅毒の報告が増加しており、群馬県でも同様の傾向があります。
- 報告件数が増加した2015年から17年にかけて、群馬県では20歳代の報告数が男女とも多くなっています。



◆ どんな病気?

- 梅毒トレポネーマという病原菌による感染症で、性的接触などで感染します。
- 感染後数週間の潜伏期を経て、病期により様々な症状が出ます。
 第1期：(約3週間後) 口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこりができ、やがて潰瘍を生じる
 第2期：(約3ヶ月後) 全身に赤い斑点ができる
 潜伏期：それまでの症状が消え、無症状の期間
 晩期：(数年後) 心臓、血管、脳、脊髄等への障害
- 早期治療で完治可能ですが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがあります。
- 妊婦が感染すると胎盤を通して胎児に感染します。

◆ 予防・対策は?

- 性行為のときは、必ずコンドームを使用しましょう(同性間でも必要です)。
- 不特定の人との性行為を避けましょう。
- 心配なことがあれば、最寄りの保健所等で相談・検査をしましょう。

◆ 症状があらわれた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

保健所では性感染症の相談・検査を**無料・匿名**で行っています
 保健所(県保健福祉事務所、市保健所)までお問合せください

- ◆ 保健所には専用の相談室(個室)があり、専門スタッフが相談や検査に応じています。
- ◆ 検査では5mL程度採血します。◆ 検査結果は直接本人にお知らせします。
- ◆ あなたのプライバシーや秘密は完全に守られます。安心してお出かけください。
- ◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.gunma.jp/02/d2910001.html>